

●新人研修医へひとこと●

ステロイドにより病気を治しても、患者さんが副作用のために苦しむようでは臨床医として失格です。両刃の剣であるステロイドを十分に使いこなせるようになってください。

*Further Reading*

- ① 実地医家のためのステロイドの上手な使い方，川合眞一編，永井書店，2004
- ☞ 基礎的な内容から最新の情報までを含んだ内容を専門家がわかりやく解説し，臨床現場において大いに役立つ書籍です。

著者プロフィール

諏訪 昭・Suwa Akira



1984年，山形大学卒業。慶應義塾大学内科で研修を行い，水戸赤十字病院，Yale大学，Georgia医科大学，都立大塚病院，慶應義塾大学内科を経て，現在は東海大学内科学系に勤務。趣味はガーデニングと旅行。膠原病。リウマチ性疾患の多くは難病とされ，診断や治療法の開発から病因追究などの基礎研究まで多くの課題があります。多くの人がこの領域を専門としてくれることを歓迎します。